

## 平 30 年度 第 3 回春日井市高蔵寺リ・ニュータウン推進会議議事録

1 開催日時 平成 31 年 1 月 21 日（月） 午後 2 時～午後 3 時 10 分

2 開催場所 東部市民センター 1 階 第 1 集会室

### 3 出席者

【会 長】春日井市市政アドバイザー	服部 敦
【委 員】愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科教授	田川 佳代子
春日井商工会議所 副会頭	高柳 通
春日井市区長町内会長連合会副会長	井村 工
東部ほっとステーション運営協議会長	安井 史子
公募委員	森田 直子
公募委員	太田 信幸
春日井市副市長	加藤 達也
高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社代表取締役社長	尾崎 智央
高蔵寺まちづくり株式会社取締役営業企画部長	石川 勇三
【オブザーバー】	
国土交通省中部地方整備局都市調整官	地下 調
独立行政法人都市再生機構中部支社住宅経営部団地マネージャー	五十嵐 和晃
【事務局】	
まちづくり推進部長	前川 広
まちづくり推進部ニュータウン創生課課長	水野 真一
まちづくり推進部ニュータウン創生課課長補佐	村上 貴幸
まちづくり推進部ニュータウン創生課主査	松尾 彰久
まちづくり推進部ニュータウン創生課主査	河井 敦
まちづくり推進部ニュータウン創生課主査	津田 哲宏
まちづくり推進部ニュータウン創生課主事	松山 晴貴
※ 高蔵寺リ・ニュータウン計画に係る支援受託者	
独立行政法人都市再生機構中部支社	瀬木 健一
独立行政法人都市再生機構中部支社	浮本 昌紀
独立行政法人都市再生機構中部支社	村田 盛太郎
株式会社URリンケージ中部支社	波多野 睦
株式会社URリンケージ中部支社	中島 良雄

【傍聴者】 3名

### 4 議題

- (1) 高蔵寺リ・ニュータウン計画の見直し（最終案）について
- (2) 高蔵寺リ・ニュータウン計画の推進状況及び平成 31 年度の予定について
- (3) その他

## 5 会議資料

- 資料1 春日井市高蔵寺リ・ニュータウン推進会議委員名簿
- 資料2 高蔵寺リ・ニュータウン計画案に対する市民意見公募の結果
- 資料3 高蔵寺リ・ニュータウン計画の一部改定（現状～中間案～最終案）
- 資料4 高蔵寺リ・ニュータウン計画（改定版）最終案
- 資料5 高蔵寺リ・ニュータウン計画の推進状況及び平成31年度の予定
- 参考資料1 高蔵寺リ・ニュータウン計画の見直しについて（答申案）

## 6 議事内容

【事務局水野】 本推進会議の委員定数は11名で、半数以上の出席を得ており、推進会議規則第5条第2項の規定により、会議は有効に成立している。

本日はオブザーバーとして、前回に引き続き、国土交通省中部地方整備局 地下調整官とUR都市機構中部支社 五十嵐団地マネージャーに出席いただいている。

なお、平成29年度第1回の推進会議において、この会議は公開することに決定しており、本日、傍聴者は3名である。

【服部会長】 （議事録署名人として、石川委員を指名。）

### (1) 高蔵寺リ・ニュータウン計画の見直し（最終案）について

【事務局松尾】 （資料2、3、4に基づき説明）

【服部会長】 議題1については、過去2回の会議において議論されたものに基づいて高蔵寺リ・ニュータウン計画の見直し案としてまとめたものであり、パブリックコメントの市民意見の結果を受けて、資料4を最終案として答申して良いかということである。特に意見がないので、最終案について参考資料による答申書により、市へ答申させていただきます。

### (2) 高蔵寺リ・ニュータウン計画の推進状況及び平成31年度の予定について

【事務局松尾】 （資料5に基づき説明）

【オブザーバー五十嵐】 スマートウェルネスを目指したURによる高森台の団地再生事業について、現在、これまでお住まいになられていた方が移転した後の土地である整備敷地の活用方策を検討中であり、その後民間事業者を公募していきたいと考えている。

（資料5参考資料4に基づき説明）

【事務局瀬木】 スマートウェルネスについては、団地の再生と高森山周辺を拠点としたスポーツ・健康づくり機能の充実をどのようにしていくか等について、基礎的な調査を進めているところである。これについては高蔵寺ニュータウン全域にサービスが提供できるスマートウェルネスとはどのようなものかという視点で、取組んでいきたい。今年度及び来年度に市とURで検討を進めて、まとまった段階で説明できればと思う。

【服部会長】 会議資料である高蔵寺ニュータウンに関するアンケート調査についても説明をいただきたい。

【事務局瀬木】 リ・ニュータウン計画について多くの取組が実施されているなかで、第1回会議では人口について議論がされており、またパブリックコメントでも市の施策につい

ての意見が出ている。そのなかで実際に、ニュータウンに転入及び転出された方を対象にアンケート調査を実施しているところ。今後展開していく施策の参考になればと考えている。

【服部会長】 それでは高蔵寺リ・ニュータウン計画の推進状況及び平成 31 年度の予定について、意見、質問をお願いしたい。

【太田委員】 人口、世帯について平成 30 年 4 月 1 日から平成 30 年 10 月 1 日を見ると、人口は 224 人減、世帯は 12 世帯減となっており、世帯に比べて人口の減少が大きい、構成などが変わったなど分析はされているのか。

【事務局村上】 人口と世帯の分析は行っていない。調査方法も含めて検討する。

【太田委員】 単純な考えであるが、世帯の子どもが育ってニュータウンから転出したことによる人口減が大きいと考えられる。

【服部会長】 UR から説明のあったアンケート調査を含めて、世帯等の分析はリ・ニュータウン計画の政策に影響があるので、事務局はしっかりとデータ収集と分析を行っていただきたい。

【森田委員】 モビリティサービスの実証実験が行われているようだが、これから高齢者が増えるイメージがあるので、実証実験に参加された方の年齢や進捗などについて教えてほしい。

【事務局津田】 実証実験に参加されているモニターについて、高齢者モニターとして 55 歳以上の方が 112 人で、年齢を問わない一般モニターの方が 100 人程度、計 200 人以上が登録されている。現在まで利用されているモニターは、高齢モニターの方が多く、一般モニターが少ない状況である。利用件数は、相乗りタクシーで 13 件、ボランティア輸送で 3 件のリクエストがあり、マッチングが成立したのは相乗りタクシーが 8 件、ボランティア輸送は 1 件。まだ実証実験の期間があるため、一般モニターについては登録と利用の促進を図りたい。

【田川委員】 医療、介護、福祉サービスの整備状況は、住むまちを選ぶ際に重要な指標になると思う。例えば在宅診療者数や介護予防に取り組む事業者数の変化など、サービスの成長は 1 年間でどの程度あるのか。

【事務局水野】 高森台の県有地にはサービス付き高齢者住宅に訪問看護ステーションを併設した施設が開設されている。また、地域包括支援センターを中学校区単位で見直しており、グルッポふじとうにも設置している。

【田川委員】 ICT の医療情報ネットワークの利用状況はどうか。

【事務局水野】 現在は把握していない。

【服部会長】 今後のフォローアップとして、医療、介護、福祉における地域の取組についてデータを整理し、指標となるものがあれば提示してもらいたい。

【高柳委員】 旧西藤山台小学校跡地の活用についてタイムスケジュールはどのようになっているのか。

【事務局村上】 まずは運動場部分にスーパーマーケット等と呼びこもうと動いているところ。平成 31 年度に地元へ説明し、その後事業者の公募を行う。

【井村委員】 グルッポふじとうの運動場について、工事を予定しているのか。また体育館に空調機器設置とあるがエアコンをつけるのか。それから図書館授乳コーナー設置とあるが、図書館の部屋の中に設置するのか。

【事務局村上】 運動場について今はオープンスペースとして広く使っているが、グルッポふじと

うの魅力を高めるような機能を、設計とあわせて検討している。設計の翌年に工事着手を考えている。

体育館はオープンから旧小学校のままであり、内壁の修繕を行う。大型の冷暖房設備の導入は難しいので、換気設備やスポットクーラーで暑さ対策をしたい。

授乳コーナーについては1か所あるが、施設が盛況で利用頻度が高いことから足りないという意見がある。図書館にあるスペースにもう1か所設置する。

**【安井委員】** 図書館の閲覧室は多くの中高年に利用されており、その評価が高いが、子育て家族には利用しにくい。また、催事などのためにオープンスペースの使用を申し込む際にも、使用する場所によって申込先が異なるため利用しにくい。さらに駐車場については建物前の駐車場に満車表示がないので、入ってみたいとわからない。多治見など遠方から来る人に、施設北部の駐車場を案内することも難しい。

**【石川委員】** 施設全体は指定管理者である高蔵寺まちづくり株式会社で管理している。1階の部分のカフェやオープンスペースでの催事利用などの受付は、1階のコンシェルジュと調整していただきたい。

高齢者の図書館利用は確かに多いが、活気を出すためには子どもたちに多く利用してもらうことが重要であり、現在力をいれているのは児童館である。夕方になると中高生の利用が多くなるが、中高生の勉強の場として3階の会議室の活用を考えている。

駐車場については、施設の周囲に30～40台分の駐車場がある。施設の出入口は3か所あるが、(北部駐車場に最も近い)西出入口から入場する利用者もかなりいるので、北部駐車場も利用者に浸透してきている。

**【服部会長】** グルッポふじとうについて要望があれば高蔵寺まちづくり株式会社へ連絡していただきたい。

**【加藤委員】** 現在、市の新年度予算編成中であり具体的な内容は決まっていないが、体育館の空調整備については、平成30年の猛暑のこともあり、全市の小中学校にスポットクーラーを入れる方針で検討している。グルッポふじとうの運動場は他の学校運動場の差別化を図っていきたいと考えている。いわゆる球技ではなく、他の使い方で調査研究を行っており、詳細が決まれば説明したい。

**【服部会長】** 平成31年度の計画とこれまでの取組を振り返り、これからのニュータウンにとって重要なのは、若い世代の導入の方策であり、そのための住宅整備が1丁目1番地の取組である。そのテーマについて、具体的な動きが少ないと思われる。

住宅整備による供給促進のひとつとして、UR高森台の団地再生事業がどのような形で進んでいくのかがこれからの住宅流通促進に大きな影響があるので、そのあり方を注視したい。高蔵寺ニュータウンは、決して住宅需要がないわけではないが、集合住宅が戸建に変わるだけでは密度が下がり、将来的にも活力がなくなる可能性がある。戸建を否定するわけではないが、ただ単純な戸建だけでなく、新たなライフスタイルによりニュータウンが活性化するような検討も必要である。その観点では、URが実施するアンケートも重要である。転入転出した方の考えや属性、ニュータウン内だけでなく周辺に転入転出している方の属性などの分析も重要ではないか。

また高蔵寺駅の乗降客数は増えているが、おそらくJRの利用が減り、愛知環状鉄道の利用が増えており、これをどう見るかが重要である。次年度以降は大きな数字や取組のフォローアップだけではなく、政策につながるようなデータの分析、フォロー

アップがされて対策が進むようにしていきたい。

(3) その他

【事務局水野】 次回の会議は7月上旬を予定している。後日、事務局より案内する。

上記のとおり、平成30年度第3回高蔵寺リ・ニュータウン推進会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成31年2月21日

会 長 服部 敦

署名人 石川 勇三